

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 4 区分
【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2004-525792 (P2004-525792A)
【公表日】平成 16 年 8 月 26 日 (2004.8.26)
【年通号数】公開・登録公報 2004-033
【出願番号】特願 2002-569419 (P2002-569419)
【国際特許分類第 7 版】

B 3 2 B 7/02

【F I】

B 3 2 B 7/02 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 1 月 17 日 (2005.1.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 5 0 % までの伸びを有する第一ポリマーと、
架橋後に 2 0 0 % ~ 6 0 0 % の範囲の伸びを有する第二ポリマーと、
架橋剤と、
の反応生成物を含む層を有する物品において、
該層は可撓性、印刷可能、および耐汚染性であり、
該第一ポリマーは第一ポリウレタンポリマー、アクリルポリマー、ポリマーポリオール
、またはこれらの混合物を含み、
該第一ポリマーは官能性を有し、そして
該第二ポリマーは官能性を有する第二ポリウレタンポリマー、ポリマーポリオール、ま
たはこれらの混合物を含み、
該伸びは A S T M D - 4 1 2 によって測定されたものである、
物品。

【請求項 2】

1 5 0 % までの伸びを有する第一ポリマーと、
2 0 0 % ~ 6 0 0 % の範囲の伸びを有する第二ポリマーと、
を含む組成物を含む層を有する物品において、
該層は可撓性、印刷可能、および耐汚染性であり、
該第一ポリマーは第一ポリウレタンポリマー、アクリルポリマー、またはこれらの混合
物を含み、
該第二ポリマーは第二ポリウレタンポリマーを含み、
該伸びは A S T M D - 4 1 2 によって測定されたものである、
物品。

【請求項 3】

前記層が、該層の上にインクを更に有する請求項 1 又は 2 記載の物品。

【請求項 4】

前記第一ポリマーが少なくとも 4 0 D のショアー硬度を有する請求項 1 ~ 3 のいずれか
記載の物品。

【請求項 5】

前記第一ポリマーが少なくとも70Dのショアー硬度を有する請求項4記載の物品。